

# 【概要版】令和5年度「滋賀県教育委員会事務の点検・評価」および「第3期滋賀県教育振興基本計画の進行管理」に関する報告書(令和4年度実績)

教育・文化スポーツ常任委員会資料3-1  
令和5年度(2023年)10月6日  
教育委員会事務局教育総務課

## 報告の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づく事務の管理および執行の状況に関する年次の点検・評価および第3期滋賀県教育振興基本計画(計画期間:平成31年度～令和5年度)の進行管理を一体的に行うものであり、計画の数値目標等28項目の令和4年度の状況に対して実施した。点検・評価等に当たっては、外部の学識経験者からの意見を聴取し、その知見の活用および客観性の担保を図った。

【参考(令和5年度懇話会委員)】・野洲市教育委員会 委員 瀬古 良勝 ・滋賀経済同友会 代表幹事(株式会社オーケーエム 会長) 村井 米男  
・滋賀県PTA連絡協議会 会長 山添 友美 ・滋賀大学 理事・副学長 渡部 雅之 (※50音順、敬称略)

## 点検・評価等の結果(総括)

・計画の数値目標27項目のうち4項目で目標達成、21項目で目標未達成となった。なお、2項目については調査中のため未把握。  
・令和4年度も教育活動各般に新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなったが、半数強の項目において前年度から数値実績が改善するなど、4年にわたる取組の継続が成果として現れてきたと見込まれる。点検・評価等の結果を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進するなどして、すべての子どもの可能性を最大限に引き出すとともに特別な支援が必要な子どもや困難な環境にある子どもの学びを福祉分野の関係機関等とも連携しながら社会全体で支え、誰一人取り残されることのないよう、学びの保障を図る。

## 各項目の成果・達成状況等

### 柱1「子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育む」

#### 【主な結果】

・「学びのアンケート」の「国語/算数・数学の授業の内容はよくわかる」について肯定的に回答した児童生徒の割合  
小・国89.1% (○) 算83.9% (×) 中・国81.5% (○) 数74.0% (○)  
⇒ 4項目中3項目については目標を達成したが、1項目のみ未達成となった。

全国学力・学習状況調査においても文章をまとめて書くことや必要な情報を読み取ることに課題が見られているため引き続き基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに、「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくり、子ども一人ひとりに応じた学びの充実等に取り組む。(P.15)

・「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合 小5男子69.1%等(×)  
⇒ 運動への興味や関心を育む取組等を進め、児童生徒の1週間の総運動時間は回復の傾向にあるが、コロナ感染症対策に伴う活動の制約の影響により運動への興味や関心が十分に高まっていない状況にある。主体的な行動につながる工夫を続け、授業改善に取り組む。(P.32)

#### 【学識経験者の主な意見】

・読み解く力の育成に関して、データに基づいて論理的に考える力の育成が重要。自分の考えをデータに基づいて組み立てていくことを今後の課題として目を向けていただきたい。(P.26)

### 柱2「社会全体で支え合い、子どもを育む」

#### 【主な結果】

・学校運営協議会を設置する公立学校の割合 59.2%(×)  
⇒ 過年度からのコロナ禍の影響による設置の停滞のため、設置率は目標には至っていないが、着実に設置校は増えている。

研修会等の機会を捉え、学校運営協議会についての理解を促進するとともに、CSアドバイザーの派遣や、効果的な運営に向けた伴走支援により、学校運営協議会の設置と地域学校協働活動を推進していく。(P.67)

・家庭教育支援チームを組織する市町数 11市町(○)  
⇒ コロナ禍以降、人と人とのつながりが希薄化し、様々な課題を抱えつつ孤立しがちな保護者が増加し、子どもの育ちを地域全体で支える重要性が一層高まっている。  
家庭教育支援チームを中心とした連携の仕組みづくりに向け、研修会や交流会で「訪問型支援」の重要性や事例を共有することにより、県全域での普及をめざす。(P.77)

#### 【学識経験者の主な意見】

・コミュニティスクールの内容を充実させるため、先進地視察や相互交流を含む研修会への継続的な支援が必要。  
・不登校児童生徒のセーフティネットとして、コミュニティスクールの活用も重要。(P.68)

### 柱3「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」

#### 【主な結果】

・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり10分以上読書している者の割合 小57.3%等(×)

⇒ コロナ禍において、一斉読書の時間を補習やドリル学習等に充てた学校があったこと等により、特に小学生の読書時間が減少している。

読書に親しむ機会を増やすため、小学校就学前の子育て支援の取組とも連携しながら、保護者の読書の重要性への理解を促進するとともに、発達段階に応じて子どもの意欲を喚起する読書活動の啓発に取り組む。(P.95)

・県民1人が県立および市町立図書館で年間に借りている図書冊数 7.22冊(×)

⇒ コロナ禍で滞在型の利用が減り、ごく短時間の利用が増えている。短時間利用者にも、資料展示等で新たな資料を提示できるように取り組む。

また、読書バリアフリーサービスや多文化サービスなどにより、これまで図書館を利用しなかった人々への図書館サービスの拡大を図る。(P.97)

#### 【学識経験者の主な意見】

・学習活動において学校図書館の更なる活用が出来れば良い学びに繋がるのではないかと。小中学校における学校司書の配置率は100%に至っていないが、対策を講じていくべき。(P.96)

## 滋賀県教育委員会の活動状況

### ①教育委員会

・開催回数 13回(定例会:12回 臨時会:1回)  
・審議件数 94件(議案71件、報告23件)

### ②総合教育会議

教育施策の方向性や教育大綱について協議した。  
(開催回数 5回)

### ③ふれあい教育対談

県内外の公立学校や社会教育施設等を訪問し、学校現場等の現状や課題について視察・意見交換を行った。  
(開催回数 8回)

■各数値目標の達成状況一覧

柱1. 子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

(1) 確かな学力を育む										(2) 豊かな心を育む									
1	「学びのアンケート」の「国語/算数・数学の授業の内容はよくわかる」について肯定的に回答した児童生徒の割合	R4目標	小国：84.5% 小算：84.5% 中国：74.0% 中数：74.0%	○ × ○ ○	2	「家庭での学習や授業をとおして、問題や課題に取り組み時に、単に答えだけでなく、答えに至る過程や根拠まで説明できるようにしていますか。」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合	R4目標	高：69.0%	○	3	「教育課程の編成、評価や改善には全教職員が関わっている」に対して、「よくあてはまる」と回答した学校の割合	R4目標	小：55.0% 中：45.0% 高：76.0%	× ○ ○	4	「自分にはよいところがあると思いますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合	R4目標	小：86.6% 中：79.0%	×
		R4実績	小国：89.1% 小算：83.9% 中国：81.5% 中数：74.0%				R4実績	高：77.6%				R4実績	小：47.7% 中：53.1% 高：78.4%				R4実績	小：78.8% 中：76.2%	
(3) 健やかな体を育む										(4) 特別支援教育の推進									
5	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	R4目標	小5男子：79.0% 小5女子：63.0% 中2男子：72.0% 中2女子：53.0%	× × × ×	6	小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の朝食欠食率	R4目標	小5：1.4% 中2：3.3% 高2：5.7%	× × ×	7	「個別の指導計画」を作成している児童生徒の割合（特別支援学級および特別支援学校を除く。）	R4目標	小：100.0% 中：100.0% 高：98.0%	○ ○ ×	8	「個別的教育支援計画」を作成している児童生徒の割合（特別支援学級および特別支援学校を除く。）	R4目標	小：96.0% 中：96.0% 高：96.0%	○ ○ ×
		R4実績	小5男子：69.1% 小5女子：51.8% 中2男子：59.8% 中2女子：38.2%				R4実績	小5：4.2% 中2：6.6% 高2：10.7%				R4実績	小：100.0% 中：100.0% 高：88.9%				R4実績	小：98.2% 中：98.7% 高：88.0%	
(5) 情報活用能力の育成										(6) 滋養ならではの本物体験・感動体験の推進									
9	教員が授業中にICTを活用して指導する能力について、肯定的な回答をした公立学校教員の割合	R4目標	78.0%	-	10	児童の意識調査「フロンティアスクールでの学習を終えて、びわ湖遊覧のテーマについての自分の考えを持ち、他の人に伝えることができましたか」の達成率	R4目標	83%	×	11	高校3年間の間に1回以上、インターンシップ、職場体験に取り組み生徒の割合	R4目標	48%	×	12	特別支援学校高等部卒業生の就職率	R4目標	30%	×
		R4実績	調査中				R4実績	79.4%				R4実績	32.3%				R4実績	22.7%	
(7) 多様な進路・就労の実現に向けた教育の推進										(8) 教職員の教育力を高める									
13	「学びのアンケート」の「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との項目について、肯定的に回答した児童生徒の割合	R4目標	小：85.0% 中：81.0%	× ○	14	幼稚園・保育所・認定こども園等利用定員数	R4目標	61,355人	○	15	私立高等学校の入学時の募集定員に対する定員充て足率	R4目標	98%	×					
		R4実績	小：82.8% 中：82.9%				R4実績	61,449人				R4実績	93.6%						

柱2. 社会全体で支え合い、子どもを育む

(1) 家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実										(2) 子どもの安全・安心の確保									
16	学校運営協議会を設置する公立学校の割合	R4目標	70%	×	17	地域学校協働活動推進員が学校と地域の連携・協働をコーディネートしている公立小中学校の割合	R4目標	70%	×	18	学校防災教育アドバイザー（消防署）と連携した教育・研修を実施した学校の割合	R4目標	96%	×					
		R4実績	59.2%				R4実績	60.7%				R4実績	69.8%						
(3) 家庭の教育力の向上										(4) 家庭の経済状況への対応									
19	家の人との学校の出来事に関する会話の状況（「している」の割合）	R4目標	小：58% 中：48%	× ×	20	家庭教育支援チームを組織する市町数	R4目標	10市町	○	21	生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率	R4目標	97.8%	-					
		R4実績	小：52.7% 中：45.3%				R4実績	11市町				R4実績	調査中						

柱3. すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する

(1) すべての人が「共に生きる」活力ある地域を創生するための生涯学習の場の充実										(2) 柔軟で多様な生き方に対応した学び続ける機会の充実										(3) 滋養ならではの学習の推進									
22	学びの成果を地域や社会のために生かしている人の割合	R4目標	34.0%	×	23	学びの成果を仕事や就職・転職などに生かしている人の割合	R4目標	36.0%	×	24	環境保全行動実施率	R4目標	80%	○															
		R4実績	22.8%				R4実績	33.0%				R4実績	86.5%																
(4) スポーツに取り組む機会づくり										(5) 読書活動の普及拡大と読書環境の整備																			
25	成人の週1回以上のスポーツ実施率	R4目標	65%	×	26	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり10分以上読書している者の割合	R4目標	小：68.5% 中：53.0%	× ×	27	県民1人が県立および市町立図書館で年間に借りている図書冊数	R4目標	7.96冊	×															
		R4実績	52.9%				R4実績	57.3% 43.2%				R4実績	7.22冊																

※着色の項目は前年度実績から改善した項目